

令和3年度自己評価

令和3年度重点的に取り組む目標と計画

- ・新型コロナウイルス感染予防対策（年間諸行事の見直し、国、道、市によるガイドライン尊寿）
 - ・コロナ禍2年目において感染対策をとった中での保護者との保育の共有
 - ・環境衛生の徹底、遊具の点検と防災装備
 - ・カリキュラムマネジメント～新型コロナウイルス感染症に対応
 - ・職員の協働性の実践、働き方の改善
 - ・インクルーシブ保育の実践と研修

新型コロナ流行禍において、令和2年度より感染対策を講じながら、ウイルスと共存しながら保育・教育を進めていけるよう工夫したカリキュラムを考えてきた。

幼児教育の場合、幼稚園だけでなく、家庭との連携が大切になってくるが、感染対策のため、園に保護者をはじめ来園する人数や時間を絞っているため、保護者にお子様の園での様子を見ていただく機会が極端に少なくなっている。

昨年度は、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置における行動制限の影響で保護者に保育を公開する機会が減り、電話や対面で個人面談をおこなったものの、園生活を実際に見ていただく機会が無かったため、参観日を計画していた。感染対策を講じ1日1クラスをホールで行い参観親子レクを開くことが出来た。子ども達にも思い出となり、保護者には、クラスではないが朝の会や保育の雰囲気や参加する様子を見ていただく事が出来た。これを機会として、個人面談での保護者との距離も縮まり次の学年への課題などもお伝えしやすくなった。夏季、体育、サッカー時はマスクを外している。

行事については、マスクをする中での発表会の取り組みは子ども達への負担が大きく別の活動を通じて表現活動や協同性を養うことにした。年中以上は科学絵本の題材を中心にグループやクラスで活動を行うなど楽しみながら活動していった。今年度も、保護者が1名のみ参加の行事については中継または録画配信の対応をとった。

3学期の音楽会は、打楽器・鍵盤楽器等の息を使わない楽器を中心として行うことが出来た。保護者2名公開の予定が、学級閉鎖、感染拡大により日程を変更して配信での公開となったのは大変残念であった。稀な大雪が続く中、保護者のご協力もありまた、子ども達の合奏を成功させたいという意欲が強く、短い期間の中で何とか合奏を発表することが出来た。卒園児にとっては大きな自信につながり、園生活の集大成として思い出に残る事だろう。保護者からは子どもたちの成長を見ることが出来た、思い出が出来良かったなどの意見が多く寄せられた。職員間でも良く連携して進めることが出来ていた。

国のICT化事業の推進に伴い保護者アプリなどを利用して情報をdata化することで効率の良い運営になってきている。保育の記録などの情報化については一部取り組み始めてお

り、職員間の情報共有化の効率の為さらにすすめていきたい。

PTA 活動はほぼ休止しているが、保護者からの要望や感想を聞く場となっており、保護者の保育参加や保護者同士の交流会について機会を増やしてほしいとの要望があり、感染状況に応じ、対策しながら行えるよう検討をしていきたいところ。

職員からは当年の保育において、教職員間の連携は良くとれているところもあるが、新人教育、職員資質向上の為に連携した取り組みに関しては、さらに改善していくことも必要と思われる。

総合的な昨年度の自己評価としてはBとする。